



Tokyo Tech

東京工業大学

ビジュアルアイデンティティマニュアル

Tokyo Institute of Technology

Visual Identity Manual

基本要素

シンボルマーク

1948年、東京美術学校教授であった堀進二氏の図案によるもので、工業の「工」の字につばめの「大」の字を図案化して配しています。「工」の字は窓を象っており、学窓の意味をも象徴しています。また、「つばめ」は「瑞鳥」として古くから慶ばれているものです。

当時、職員バッジの図案として採用され、以後、シンボルマークとして広く親しまれて使用されてきました。

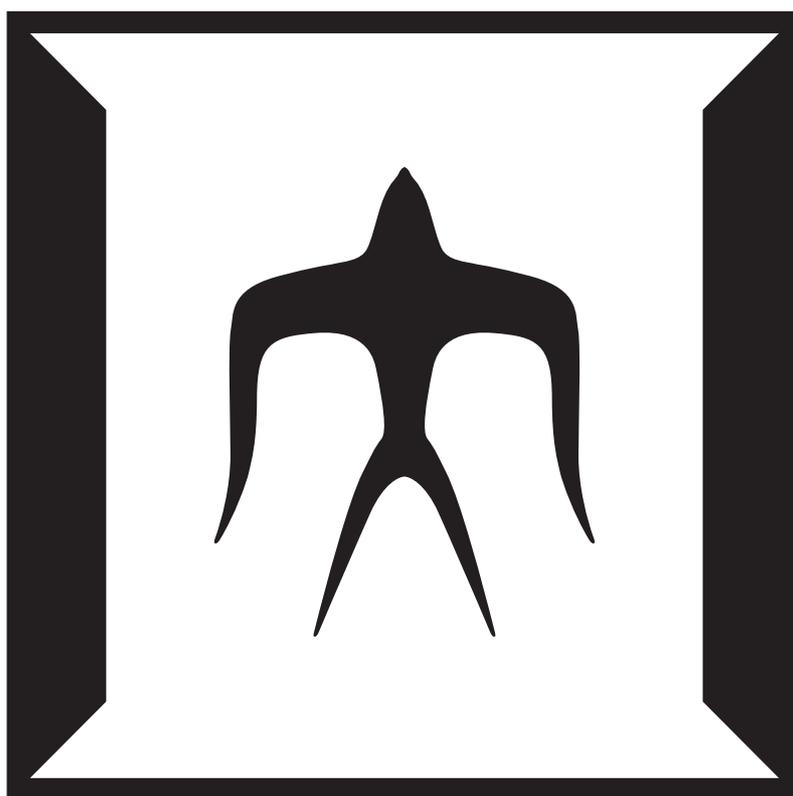
1981年、本学の創立100年に当たり、正式に本学のシンボルマークとして制定しました。

制定にあたり、手島精一先生のご令孫で当時東京藝術大学助教授であられた手島有男氏に図案作成の協力をいただきました。

シンボルマークがこれからも本学の象徴として、構成員に愛され、また、東工大ブランドを世界中に広める役割を果たすことを願い、今回、1981年版の図版をトレースし、デジタルデータを作成しました。

シンボルマークは「窓」と「つばめ」のふたつの要素で成り立っています。

それらの単独での使用や、いかなる形状変更を禁止します。



基本要素

ロゴタイプ

シンボルマークと併用して使用します。

書体は常に以下のロゴタイプ(和文英文共に、「小塚ゴシック Std R」)を使用します。

英文標記の略称は「Tokyo Tech」*とし、書体は常にこのロゴタイプを使用します。

*「東京工業大学の略称に関する申し合わせ(平成16年4月1日学長裁定)」による

東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

Tokyo Tech

基本要素

組み合わせタイプ

シンボルロゴは、組み合わせタイプが厳密に定められており、推奨1パターン、バリエーション8パターンの計9通りでのみ使用可能です。

[推奨]

- シンボルマーク+ロゴタイプ英文略称 天地



[バリエーション]

<ul style="list-style-type: none">●シンボルマーク単体 	<ul style="list-style-type: none">●シンボルマーク+ ロゴタイプ和文英文 天地 	<ul style="list-style-type: none">●シンボルマーク+ロゴタイプ和文 天地 
<ul style="list-style-type: none">●シンボルマーク+ロゴタイプ和文英文 左右 	<ul style="list-style-type: none">●シンボルマーク+ロゴタイプ和文 左右 	
<ul style="list-style-type: none">●シンボルマーク+ロゴタイプ英文 左右 	<ul style="list-style-type: none">●シンボルマーク+ ロゴタイプ和文縦 天地 	
<ul style="list-style-type: none">●シンボルマーク+ロゴタイプ英文略称 左右 		

シンボルロゴのカラー

シンボルロゴを使用する際、シンボルロゴのカラーは以下の3色のみで使用可能です。
前頁のロゴの組み合わせタイプ全て共通のルールになります。



黒
[DIC] 582
[CMYK] C0 / M0 / Y0 / K100
[RGB] R0 / G0 / B0
[HEX] #000000



白
[DIC] F27
[CMYK] C0 / M0 / Y0 / K0
[RGB] R255 / G255 / B255
[HEX] #ffffff



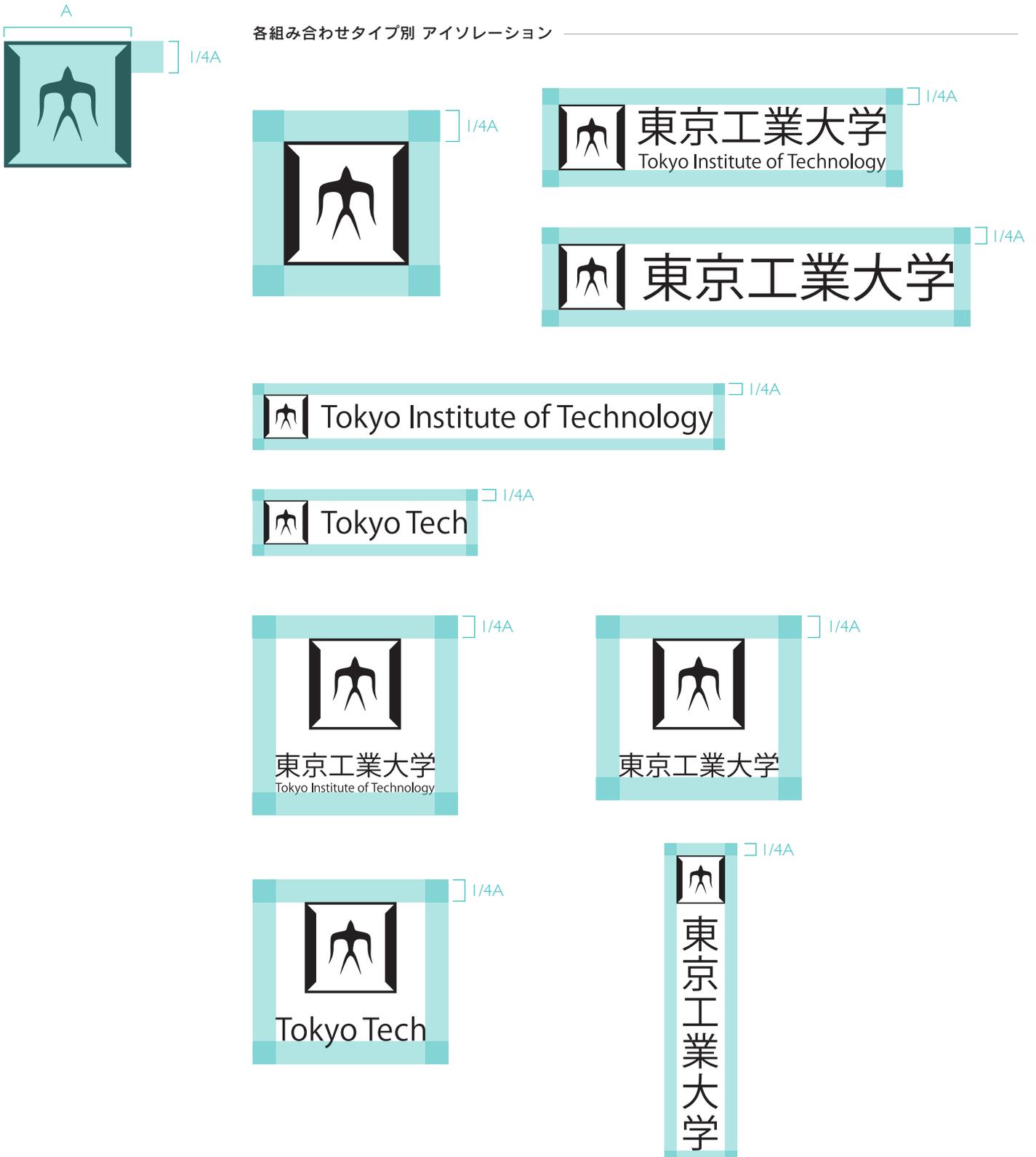
ロイヤルブルー
[DIC] 641
[CMYK] C100 / M60 / Y0 / K0
[RGB] R0 / G83 / B150
[HEX] #005396

使用方法

アイソレーション

シンボルロゴの配置にあたっては、シンボルロゴへの他の要素の干渉を防ぐため、シンボルロゴの天地左右には、適度な余白があると効果的です。
この項では、周囲の要素や紙面の端との間に最小限確保すべき余白を規定しています。

アイソレーションの仕組みは、下図のとおり、シンボルマークの直径（A）の4分の1を最小限必要な余白として算出しています。

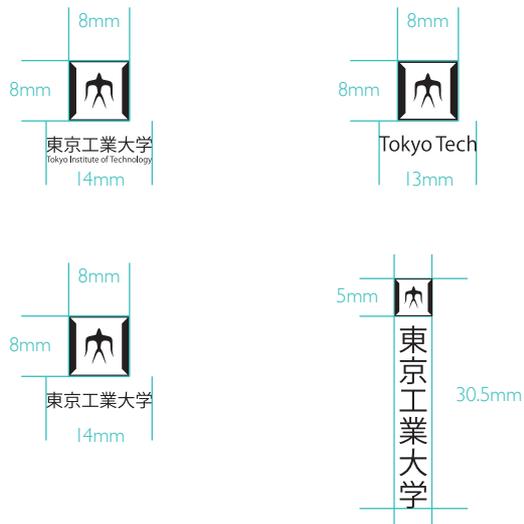
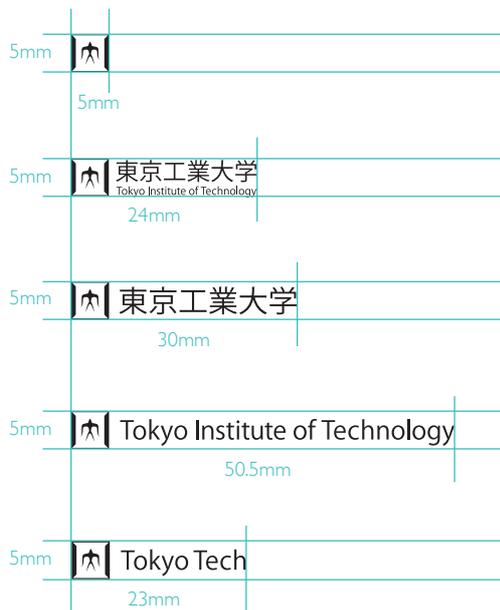


使用方法

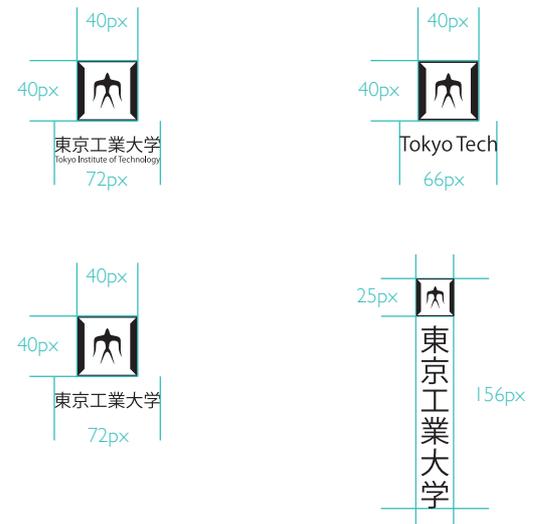
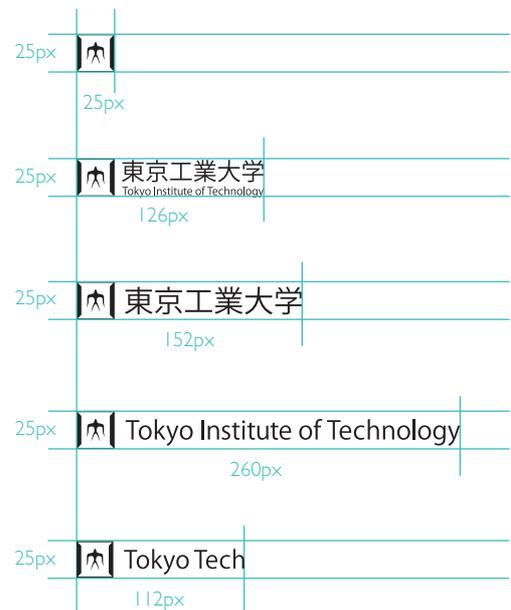
最小サイズの指定

シンボルロゴはあまりにも小さすぎると、視認性が著しく低下します。
シンボルマーク、ロゴタイプの視認性を考慮して、標準的な印刷、Webサイトを想定した場合のシンボルロゴの最小使用サイズを以下のように定めています。

紙媒体、アイテム表示用



PC、スマートフォン等のデジタル媒体表示用



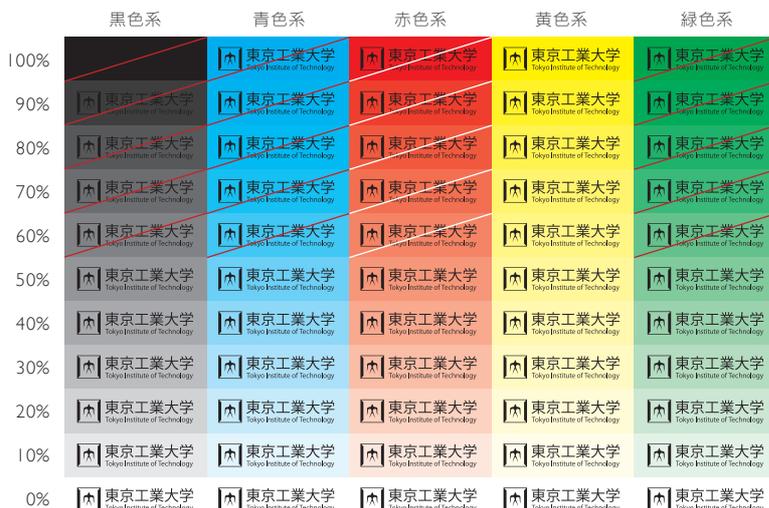
使用方法

背景色との組み合わせ…目安

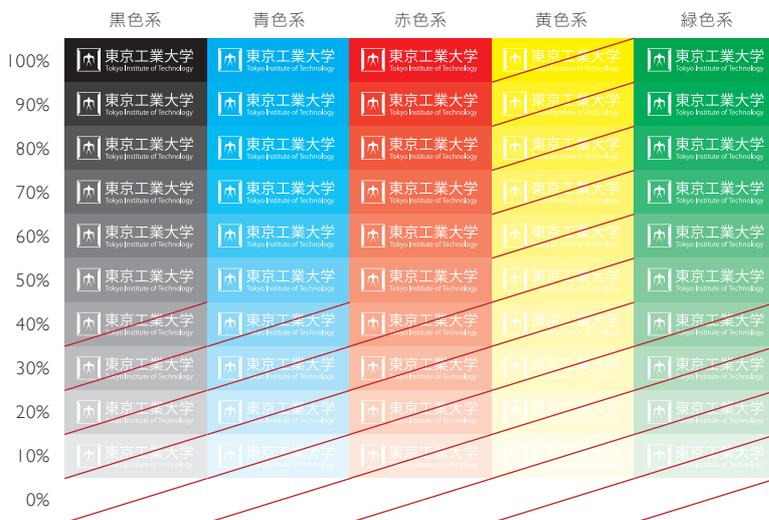
シンボルロゴを背景色に配置する際、背景色の指定はありませんが、
 明度に合わせてロゴカラー（白、黒、ロイヤルブルー）を選択し、視認性を確保する必要があります。
 これらは、ロゴの組み合わせタイプ全て共通のルールになります。



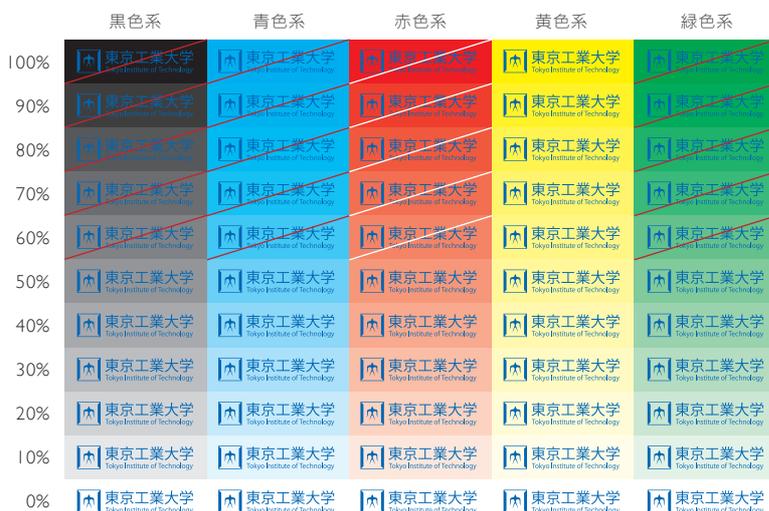
シンボルロゴカラー
黒



シンボルロゴカラー
白



シンボルロゴカラー
ロイヤルブルー



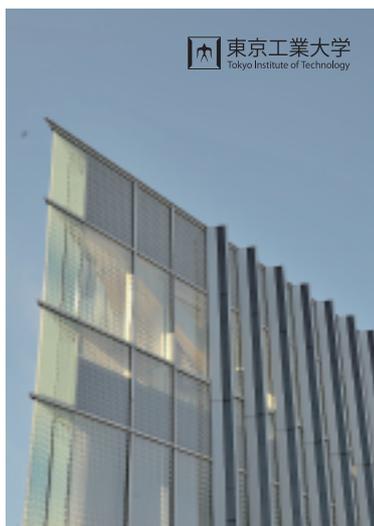
使用方法

背景写真（模様）との組み合わせ…目安

写真や模様や色のついた背景の上に配置するときは、なるべく一色で無地に近いところで配置する必要があります。

以下にいくつかの具体例を紹介します。

これらは、ロゴの組み合わせタイプ全て共通のルールになります。



背景写真の中で、できるだけ一色で無地に近い所を検討し、シンボルロゴの独立性を確保します。

背景写真が複雑でシンボルロゴの独立性が難しい場合は、レイヤーを重ね、下地のコントラストを下げる等が必要になります。



背景に模様がある場合は、アイソレーションに注意しながら、部分的に模様を削除したり、レイヤーを重ねる等をし、シンボルロゴの独立性を確保します。



独立性、視認性を確保するために、シンボルロゴにアウトラインを入れる等、ロゴ自体に加工を施す処理は禁止します。

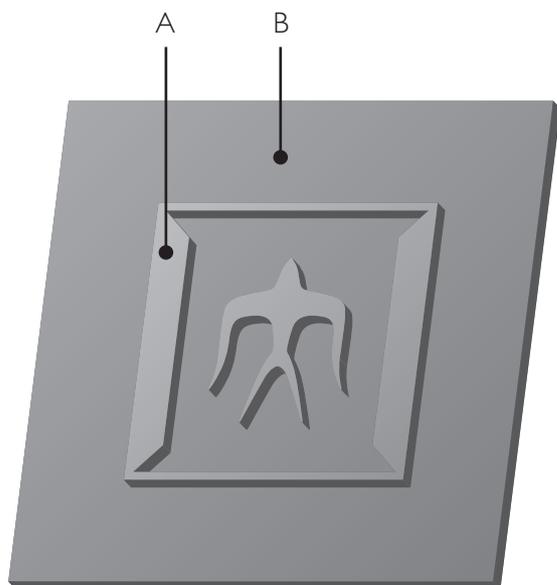
使用方法

立体再現

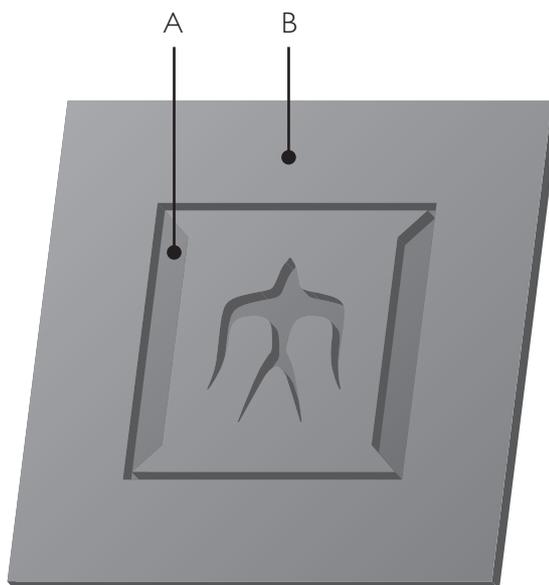
東工大シンボルロゴを、金属や木材などの立体物に表示する場合、下図のような加工による再現が可能です。

図中のAについては、基本的には4ページの「シンボルロゴのカラー」に準拠するものとしませんが、

A,Bは素材色として同色にすることも可能です。



彫り出し加工



彫り込み加工

ガラス等の透過物への再現

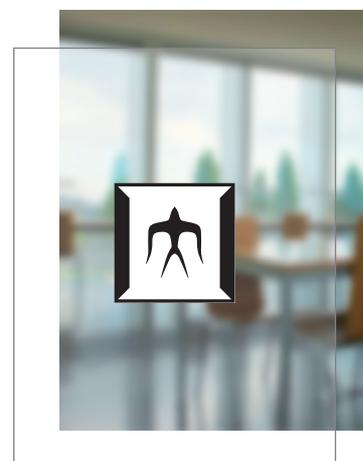
東工大シンボルロゴを、ガラスやビニールなどの透過物へ印刷等をして再現する場合、下図のような加工による再現が可能です。

基本的にAを推奨しますが、シールなど透かし加工が難しい場合、Bのように再現することが可能です。その場合アイソレーションエリアを考慮し印刷する必要があります。また、Bと同様に透かしが難しく、シンボルマーク単体で使用する場合のみ、Cの再現を許容します。カラーは基本的には4ページの「シンボルロゴのカラー」に準拠します。

A

B

C



ガラス等の透過物

使用方法

禁止事項

シンボルロゴは、その独自性と共通のブランドイメージを保つため、以下のような処理を禁止します。
これらは、ロゴの組み合わせタイプ全て共通のルールになります。



指定色以外を使用してはならない。



変形をしてはならない。



シンボルロゴの組み合わせタイプ以外で
シンボルマークとロゴタイプの
比率を変えてはならない。



シンボルロゴの組み合わせタイプ以外で
シンボルマークとロゴタイプの
位置を変えてはならない。



ロゴタイプを他の書体で
表現してはならない。



アイソレーションを無視した
他の要素を加えてはならない。



シンボルロゴを文章中に
使用してはならない。



アウトラインを
つけてはならない。



傾けてはならない。



ロゴタイプを単体で
使用してはならない。



要素が欠けてはならない。



立体化した演出をしては
ならない。



グラデーションを
かけてはならない。



テクスチャをいれては
ならない。

各部局名とシンボルロゴの組み合わせ

各部局名の書体について

部局名の書体は特に指定しませんが、基本的には飾り文字などではなく、ごく一般的な書体とします。

例)

和文ゴシック体 : ヒラギノ角ゴシック、小塚ゴシック、新ゴ …など

和文明朝体 : ヒラギノ明朝、小塚明朝、リュウミン …など

英文サンセリフ体 : Arial、Myriad、GillSans …など

英文セリフ体 : Times New Roman、GEORGIA、Century …など

シンボルロゴと部局名 (ヒラギノ角ゴシック)



シンボルロゴと部局名 (リュウミン)



シンボルロゴと部局名 (Arial)



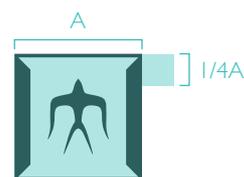
シンボルロゴと部局名 (Century)



各部局名とシンボルロゴの組み合わせ

各部局名とシンボルロゴの配置について

各部局を東工大のシンボルロゴと組み合わせで使用する場合は、アイソレーションの項の、A/1/4以上の余白を空け、配置します。



各シンボルロゴと部局名の組み合わせ I



シンボルマーク単体と部局名の組み合わせは禁止します。



シンボルロゴ和文英文左右との組み合わせは、部局名は右側に配置します。アイソレーション規定の余白以上は必ず空け、極力ロゴタイプの高さに合わせ配置します。

また、部局名の文字数が多い、もしくは掲載する媒体のスペースの問題等の理由で、部局名との天地で組み合わせる必要がある場合、これを許容します。この場合、掲載する媒体のデザインに合わせ、左揃え、中央揃え、右揃えの3種から選択できます。



シンボルロゴ和文左右との組み合わせも上記同様のルールで配置します。部局名を天地で組み合わせる場合も同様です。

各部局名とシンボルロゴの組み合わせ

各シンボルロゴと部局名の組み合わせ 2

 Tokyo Institute of Technology Admission office I/4A

 Tokyo Institute of Technology
Department of Mechanical and Intelligent Systems Engineering I/4A

 Tokyo Institute of Technology
Department of Mechanical and Intelligent Systems Engineering I/4A

 Tokyo Institute of Technology
Department of Mechanical and Intelligent Systems Engineering I/4A

シンボルロゴ英文左右との組み合わせも12ページ同様のルールで配置します。
部局名を天地で組み合わせる場合も同様です。

 Tokyo Tech Admission office I/4A

 Tokyo Tech
Department of Mechanical and Intelligent Systems Engineering I/4A

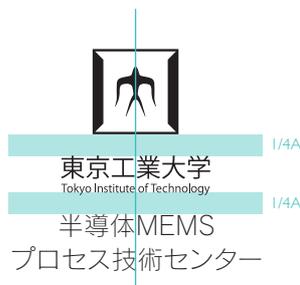
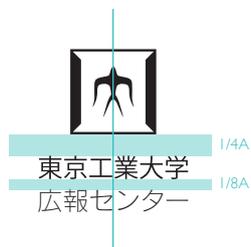
 Tokyo Tech
Department of Mechanical and Intelligent Systems Engineering I/4A

 Tokyo Tech
Department of Mechanical and Intelligent Systems Engineering I/4A

シンボルロゴ英文略称左右との組み合わせも12ページ同様のルールで配置します。
部局名を天地で組み合わせる場合も同様です。

各部局名とシンボルロゴの組み合わせ

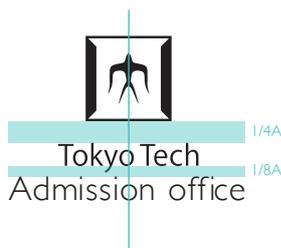
各シンボルロゴと部局名の組み合わせ 3



シンボルロゴ天地との組み合わせは、部局名は下部に配置します。例外的にアイソレーションエリア“1/4A”の半分“1/8A”以上の余白を空け、部局名を配置します。

ただし、部局名称をやむを得ず2行にする場合、視認性と部局名の独立性の観点から、アイソレーションエリア“1/4A”以上を推奨します。

シンボルロゴに対して、必ずセンター揃えて配置します。



シンボルロゴ英文略称天地との組み合わせも上記同様のルールで配置します。



シンボルロゴ和文縦天地との組み合わせは、部局名は下部に配置、左に配置、右に配置の3通りで配置が可能です。掲載する媒体のデザインに合わせ、選択してください。

アイソレーション規定の余白を必ず空け配置します。

天地に組む場合は、シンボルロゴに対して、必ずセンター揃えとし、部局名はロゴタイプの幅に極力合わせま配置します。左右に配置する場合は、ロゴタイプと部局名の頭を揃えて配置します。

各部局名とシンボルロゴの組み合わせ

各部局にロゴマークがある場合の組み合わせ

部局に独自のシンボルロゴがある場合、部局のブランディングを優先し、東工大のシンボルロゴより大きく配置することを推奨します。東工大のシンボルロゴの大きさは最小サイズ(6ページ)を厳守しますが、部局ロゴの大きさは部局ロゴのビジュアルアイデンティティに従います。また、これまで同様、最小限必要な1/4A以上のアイソレーションエリアを設けます。上記より、「天地」で組み合わせることを推奨しますが、掲載する媒体のデザイン・レイアウトの都合上、「左右」で組み合わせる必要がある場合、極力ロゴタイプの高さに合わせ配置します。ただし、部局のブランディングを加味し、東工大のシンボルマークの高さまで大きくすることを許容します。これらを優先し、12、13ページの全てのシンボルロゴとの組み合わせパターン全てに適用されます。



14ページのシンボルロゴとの組み合わせパターンについては、部局ロゴの視認性と独立性の観点から、部局名で設定していたアイソレーションエリア“1/8A”は禁止します。また、シンボルロゴと文縦天地との組み合わせも禁止はしませんが、部局ロゴの形状の影響が大きく、デザイン的な観点から、推奨はしません。これらを優先し、14ページ全てのシンボルロゴとの組み合わせパターン全てに適用されます。

